

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 2月20日更新

事務事業名	青少年育成市民会議活動支援事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木 清智
	施策	4	子育て支援の充実			所属課	生涯学習課	担当者名	境 真奈美
	施策の柱	17	地域における子育て支援			所属班	生涯学習班	(内線)	1505
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10818	根拠法令	合志市社会教育団体活動事業補助金交付要綱		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	次代を担う青少年が、のびのびと健やかに育ち、人間性豊かな社会人へと成長することを目標にしている。目標達成するためにも、子どもが育つ場である家庭・学校・地域社会が協力体制を構築し、親や大人、子どもや青年も参加する地域ぐるみの取り組みを進めている。具体的には、地域の見守り活動として、パトロールを行っている。地域で開催される祭や長期休み期間(夏休み・冬休み・春休み)、卒業式に日程を合わせ防犯や事故の抑止力になるよう努めている。また、講演会を開催し、青少年を取り巻く問題について考える機会を提供している。
【業務の流れ】	4月に総会・各部会を開催し、その後、部会ごとに業務を実施。例年、地域部会は7・3月に教育パトロール。育成部会は10月に教育特別講演会。地域部会は、地域で開催される祭や長期休み期間(夏休み・冬休み・春休み)、卒業式にパトロールや講演会の開催。3月に理事会、監事会を開催。事務局は、各部会の事業の計画・実施及び事務・会計を行った。
【主な予算費目】	補助金交付(合志市青少年育成市民会議)
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動)(DO)	合志市青少年育成市民会議に対して、730,000円の補助金を交付した。会員によるパトロールを実施したが、欠席者分の費用弁償が執行されなかったため、補助金の残金を返納した。	31年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		合志市青少年育成市民会議に対して、助成金を交付し、PTAと共催の教育特別講演会を開催予定。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 補助金の額	イ:	【合志市総合センター「ウィーブル」Presents3x3ヴォルターズカップ】事業を、宝くじ助成事業に申請しており、平成31年4月に採択されるかどうかが判明する。(10/10補助率)採択されなければ、予算執行せず、平成31年6月補正にて削減する予定のもの。【社会教育運営支援事業(10598)】に計上していた時間外勤務手当を各事業に計上しているためによる増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市青少年育成市民会議	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
		(単位) 人
		→ ア: 市民会議を構成するメンバーの数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地域全体での子どもを見守り	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
		(単位) %
		→ ア: 子どもの安全に不安を感じる世帯の割合(市民アンケート)
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
継続して活動することにより防犯や事故を予防する効果があり、適正に補助金を支給し活動促進をしていくため。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	28年度	29年度	30年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	千円	802	649	864	578	864	864	864	864	
② 対象指標	人	125	121	100	101	100	100	100	100	
③ 成果指標	%	35.9	31.6	25	28.2	25	33	30	30	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円				900			
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	800	650	1,030	879	868	864	
		(A) 事業費計	千円	800	650	1,030	879	1,768	864	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	6	1	3	1	1	0
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	1,315	778	0	23	0	0	0	
	(B) 人件費計	千円	0	3,077	0	90	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	800	3,727	1,030	969	1,768	864	0	

事務事業名	青少年育成市民会議活動支援事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 社会を明るくする運動で行なわれている啓発活動への参加や講演会やパトロール実施など市民に理解いただく内容が実施できた。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 社会を明るくする運動で行なわれている啓発活動への参加や講演会やパトロール実施など市民に理解いただく内容を実施する計画であるため。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 市民会議の構成メンバーの中には類似団体にも所属し、重複して活動している状況があるため、各分野での活動の拡充を図り、活性化できる余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 交通防災課と学校教育課において類似団体があり、本市民会議の一部を統合するなど、効率化を図り成果向上ができる可能性がある。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 全市をあげて市民会議の活動を実施していく必要があり、市民の理解と協力を得るためには現在の補助金額の削減は難しい。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付や事業実績の確認など、必要最小限の事務であるため、削減は難しい。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 市民会議は全市あげて青少年の健全な育成に取り組む団体であり、受益の偏在はありえないので公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 組織自体の有り方や活動なども見直す時期に来ていると思われる。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

パトロールの実施だけでなく、啓発活動や啓発グッズの作製など内容向上を図ることができた。今後も他の団体などとの連携や協力を視野に入れて活動していきたい。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						